



関西学院同窓会 大阪支部

INTERVIEW

<http://www.kwangaku-osaka.org>

2015.10

探訪記

FILE

No.08

株式会社三社電機製作所 代表取締役社長 四方 邦夫氏

『オンリーワン』と『コミュニケーション』

——まず、関西学院大学に進学されたきっかけや入学時の思い出をお聞かせいただけますか？

関学のキャンパスの写真を見る機会があり、きれいな学校やなあ。一回見に行きたいなあ。」と思いました。で、実物を見たら、「これは、ぜひ行きたい。」と思うように。

実は入試の日に、電車の事故があり、遅刻。ダメもとで、とりあえず学校に行ってみたら、同じよう

に遅れた学生がようさんいました。学校の先生は「もう、ダメ。受けられない。」と、学生は「受けさせてくれ。」と言ひ合ひになって、結局、なんとか受験できました。実は、そのとき、やりとりした先生が、大塚安次郎教授で、入学後もお世話になりました。不思議な縁を感じました。

——KGではどのような学生でしたか？また、学生時代の思い出があれば教えてください。

文学部の産業社会専攻でしたが、映画研究会に入り、映画制作にのめりこみました。生まれ育った京都には、撮影所もあり、俳優も技術者もいて、「映画の世界」が身近だったからだと思います。宝塚のファミリーランドがあった場所に当時は撮影所があり、入り浸っていました。卒業後も、できれば、映画関係の仕事にしたいと考えていました。

——その夢はどつたりしましたか？

親父からは大反対！で、当時より、取引のあった松下電器産業（現：パナソニック）に就職することになりました。

——松下電器（パナソニック）での仕事や思い出をお聞かせください。

庄内にあった営業所で働き始めて、7年間在籍しました。最初は総務。その後、営業の仕事もしました。当時の松下は良い意味で、「いい加減」。大らかで若手にいろんなことを任せてくれました。ダイレクターメールを使うという営業戦略が、当時の業務用営業では珍しく、これが当たり、社内でも名前が売れて、自分でも自信ができました。

松下幸之助さんも「健在の時代で、激励の言葉などをかけてくださった」ともあります。

——それから、現在の三社電機製作所に戻られたのですか？

これも、親父からの「戻ってこい」の一言で。開発された直流溶接機が「作ったら売れる時代」で、忙しいけれど良い時代でした。そう意味では戻ってちよつと気が抜けたかもしれせん。

その後、会社のシステム部門を任せられることになりました。当時、かなりの大企業投資をして、システム開発をすることになり、必死で勉強しました。まだIBMの汎用機の時代でしたが、これもよい勉強になりました。

——お聞きしているとお父様が人生の岐路ではアドバイスしてくださっているようですが、どのようなお父様でしたか？

一言でいうと「ええ男」でした。時代劇の役者みたいな風貌で、おしゃやれで。そして、何よりも人に好かれる人でした。息子から見ても、やきもちを焼きたくなるぐらいの人気者でした。

——その後、社長就任とされるわけですが、三社電機製作所が大切にされていることを教えてください。

ひとつはオンリーワンとなる製品を開発すること。他社にはない強みをいかに作るかが大切です。当社は、半導体メーカーとしての専門性・独自性があることが、会社としての存在価値を高めること



株式会社三社電機製作所 代表取締役社長
四方 邦夫（しかた・くにお）氏



いことだと思っ
ています。ただ、
大学自体は、も
っと積極的にな
ってほしいと思
っています。せ
っかくいろいろな
技術的な研究を
しているのに、
なかなかビジネ
スにつながって
いない印象です。
もっと欲を出し
てもいいんじゃない
かなと思います。

——ありがとうございます。

2015年10月6日

場所：株式会社三社電機製作所にて

取材：伊賀重理／松野雄一／白尾歩

につながっています。

もうひとつは、社内のコミュニケーションをよくすること。上から下へ「やれ」という命令だけではうまくいきません。これまで議論を戦わすことも多々ありました。現在も、常々、社員には「コミュニケーション能力を高めよう」と言っています。

——社長に就任されてから、株式上場という大仕事をされていますが、いかがでしたか？

平成7年に上場しました。これも父の願いの一つでした。上場の大きな目的は資金調達でしたが、それだけではなく、求人の反応や職場の雰囲気もよくなり、いろんな面でメリットが大きかったと思います。

——現在の関学を見て思うところ、また、関学のOB・OGに対してのメッセージをお願いします。

関学生はスマートで人懐っこい。ほかの大学にはない「ファミリー意識」もあります。これはとてもよ

四方邦夫（しかた・くにお）氏

株式会社三社電機製作所代表取締役社長

1960年3月 関西学院大学 文学部卒業

1963年7月 株式会社三社電機製作所 入社

1986年5月 株式会社三社電機製作所 代表取締役社長
就任

編集後記

「三代目社長として上場を実現された四方先輩。積極的な海外進出など伺いたいことはまだまだたくさんあります。『オンリーワン』と『コミュニケーション』。重慶をキーワードですね。」

編集室長 小島幸保（1995年法学部政治学科卒）